

大明小学校 校長室から

令和元年5月29日

No. 10

文責 校長 飯久保一男

修学旅行に行ってきました

5月22日（水）～24日（金）の3日間、6年生と修学旅行に行ってきました。前日が大雨で天気を心配しましたが、3日間ともいい天気に恵まれて、計画通りすべての見学・活動を行うことができました。簡単に旅行の内容を紹介します。テーマ・約束は以下の通りです

楽しく協力 思い出に残る修学旅行にしよう

- ・返事、あいさつをしっかりとる
- ・行動をすばやくする
- ・時間を守る
- ・話をしっかりと聞く
- ・安全に気をつける

<テーブルマナーも学びました>



5月22日（水） 学校 → 円覚寺 → 高德院大仏 → 鎌倉班別見学 → 鶴岡八幡宮 → 宿舎



円覚寺では坐禅の体験をしました。坐禅の意味などを指導いただきながら、数分の体験でしたが、姿勢や呼吸法、そして、心を整えることを学びました。

昼食をはさんで、鎌倉の大仏の見学です。修学旅行のシーズンということもあって、大変混雑していました。ほとんどの子が初めて見る大仏でしたので、その大仏の姿に見惚れていました。その後、子どもたちの計画に従っての班別見学になりました。多くの班が、銭洗弁天を見学コースに入れ、たくさん歩くコースをつくっていました。ほとんどの班も計画通りに見学でき、小町通でお土産も買って、集合時刻を守り、鶴岡八幡宮に到着しました。

宿舎は横浜のホテルでした。夕食はテーブルマナーを学びながらのフランス料理で、ナイフやフォークに苦戦しながらもおおいにいただきました。修学旅行の1日目の夜は、眠れない子どもたちも多いのですが、大明小の6年生は静かにしていました。眠れたかどうかは…？

5月23日（木） 宿舎 → 江戸東京博物館 → 東京タワー → JAL機体整備工場 → 宿舎

2日目の朝も時間を守って、朝食になりました。朝は2日間ともバイキング式の朝食でした。私など貧乏性の人間は、バイキング式の食事はつい欲が勝ってしまい食べ過ぎてしまいます…。

2日目最初の見学は江戸東京博物館でした。東京の歴史を順に学べる形でつくられていて、見ごたえのある博物館です。

続いて東京タワーの見学です。東京スカイツリーができたとはいえ、見学者は多く、混雑していました。快晴で展望は素晴らしく、お楽しみのお土産も買えました。

そしてこの日の最後、JALの機体整備工場の見学です。ジャンボジェットを間近で見て、また、格納庫から滑走路への扉を全開にしてもらって離陸していく飛行機を見せていただきました。大きな飛行機が離陸



していく姿には心が躍りました。

2日目の宿舎は、東京の夢の島公園内のスポーツ施設も兼ねた宿舎で、東京では珍しく、数人で部屋に泊まれる宿舎でした。この日は、会議室も用意してもらい、班長・部屋長会議をじっくり行うこともできました。実行委員や班長や部屋長と反省を出し合い、3日目に気を付けなければいけないことを話し合い、班長・部屋長は、部屋にいる他の子に話し合われたことを確認して、消灯となりました。さすがに2日目の夜はよく眠れたようです。

5月24日（金） 宿舎 → 第五福竜丸展示館 → 国立科学博物館 → 上野動物園 → 学校



3日目も6年生全員が元気で見学に出発しました。最初は、宿舎と同じ夢の島公園内にある、第五福竜丸展示館です。

第五福竜丸…1954年ビキニ環礁でアメリカ軍の水素爆弾実験により被爆した遠洋マグロ漁船です。その後、東京水産大学の練習船として使われて、廃船になりました。そして、いくつかのスクラップ業者などを経て、元は東京都のごみ処分場であった夢の島に打ち棄てられていました。これが報道され、地元江東区有志が船体を30万円で買い取り、東京都へ寄贈され、展示館が棄てられていた夢の島に開館されました。

広島、長崎とともに、日本の被爆の歴史を残す第五福竜丸です。6年生は係員の説明をよく聞いて学んでいました。

続いて国立科学博物館です。1日かけても見学しきれないほどの博物館です。おまけに修学旅行の中高生も多くいて、班行動をしている大明小の6年生になかなか出会うことができませんでした。

3日間の見学の最後は、上野動物園です。パンダを見る行列が20分待ちと表示されていました。いつもより短い時間で見られるとのことでしたが、大明小の6年生は、その時間も他の動物を多く見学したほうが良いという判断からか、どの班もパンダの見学の列には並んでいませんでした。さすがに疲れも出てきたのか、足取りの重い子もいましたが、そこは大明小の6年生、集合時間にはちゃんと間に合わせ、予定通りに学校に戻ってきました。

私は、修学旅行に関わって、何度か6年生に話す機会をもらったので、子どもたちがつくったテーマや約束などについて話をしました。概要です。

【結団式で】 テーマにある、楽しいってどういうことだろう。テレビでお笑い番組を見て楽しいというのと修学旅行の楽しさは全然違う。与えられる楽しさではなく、修学旅行の楽しさは、みんなでつくり出す楽しさだと思う。楽しいということの意味を考える修学旅行にしてほしい。

【出発式で】 思い出に残る修学旅行にするにはどうしたらいいのだろう。いい思い出というのは、始めから、思い出をつくらうと思ってできるものなのだろうか。途中、意見の食い違いなどがあっても、一生懸命取り組んだ結果が、後になっていい思い出になるのではないかな。まず一生懸命やってみよう。

【班長・部屋長会議で（全員に話したことはありませんが）】 約束には、2か所「しっかり」という言葉が使われているが、しっかり返事やあいさつをする、話をしっかり聞くというのは、どのような行動のことを指すのだろう。きれいに掃除をするといってもよくわからないけど、すみにごみやほこりを残さないようにするといえやることがはっきりする。「しっかり」という言葉の内容をはっきりさせた方がいい。

【到着式で】 天気恵まれて、全員無事に帰ってこられたことが何よりのこと。よくがんばった。では、修学旅行は成功したといえるのだろうか。その答えは、今はまだ出せないかもしれない。その答えはもしかしたら卒業式で出るのかもしれない。月曜日から6年生の姿勢や態度が修学旅行前よりも進化していたら成功といえるのかもしれない。この修学旅行を経て、6年生が成長できたのなら成功だといえるし、あまり変わらないとなったら成功といえなくなる。修学旅行の後が実は大切になるんだ。修学旅行を経ての6年生の姿に期待している。